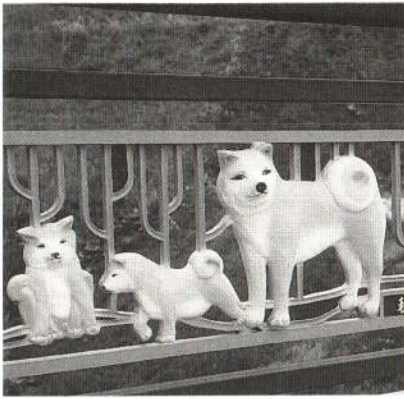


## これはなに?



### 橋の欄干に秋田犬が

大館南バイパスの山王岱橋で、こんな欄干を見つけました。

カラーでお見せできないのが残念ですが、この秋田犬には鮮やかな彩色が施されています。また、注意しながら見てみると、実はこれ、平板な絵ではなくて立体像なのです。さらに、付近には秋田犬ばかりでなく、曲げわっぱやきりたんぽをデザインしたものまで…。

デザインが施された欄干は珍しくはありませんが、これほど手が込んだものとなると、ちょっとお目にかかれませんか。



## ふるさと大館へ

大館ふるさと会からの便り⑬

### 幹事 相馬三好さん

(東京都江戸川区在住)

私は大館ふるさと会の幹事の一員となって、昨年からお仕事をさせていたいております。

私が生まれた所は大茂内です。子供のころは鳳凰山を眺め、景観美あふれる長木川で魚を取ったり、野山を駆け巡っては木の実を取って食べたものでした。清く澄みきった緑豊かな大自然のもとで遊び育った記憶は昨日のこのように思え、今でも脳裏に焼き付いています。

昭和三十六年に花岡工業高校を卒業し、東京の営団地下鉄に就職しましたが、途中、一身上の都合で退職し、現在は江戸川区でタクシーの運転手として元気に働いております。

職場の仲間と一緒に酒をくみ交わすときにはいつも決まってお国の自慢話が出ます。本場の秋田産きりたんぽや忠犬八千公、秋田の米、秋田民謡の話になると、思わず秋田なまりでしゃべったり、歌ッコ

を歌ったりして…。そんなふうで大館を自慢するときが一番の楽しみですね。

ちょうどこの広報が発行されるころのことになります。大館ふるさと会では、六月十四日から十六日まで三日間の日程で大館に里帰りする旅行を計画しています。市長を訪ねたり、大館能代空港を見学したりするのをはじめ、大型プロジェクト関連施設の数々を見学する予定です。また、ふるさとの皆さんと心ゆくまで歓談し、親交を深められることを楽しみにしております。

この五月には実家に不幸があったために帰省しました。市街を車で運転してみて、道路整備の進展ぶりと御成町周辺の発展ぶりには特に驚かされたものです。

今後も緑豊かな自然を大切にしてください。ふるさと大館のますますの発展を心からご期待申し上げます。

## 大宮発 → 大館着

前略

### 大館市民になりました

62

☆今回は、鳳町の加藤茂さん一家です。

Q. ご家族は何人ですか?

妻の美千子、長男の祐也、次男の翔太と私の四大家族です。

Q. どちらからおいでになりましたか?

三月に埼玉県大宮市から引っ越して来ました。実は、私は大館の生まれで、こちらに住むのは約二十年ぶりなんです。

Q. 大館の印象はいかがですか?

都会と比べて感じるのにはやはり自然の豊かさ、すがすがしさですね。今までは塾通いや家にこもってのファミコンばかりだった子供たちが、大館に来てからは近所の子供たちと遊びに出かけたり、部活で汗を流したりといった子供らしい日々を送れるようになり、親としてうれしさが溢れます。

Q. 食べ物や言葉はいかがですか?

大館には鋭い味覚をお持ちのかたが多いように思います。というのも、実は私、和食の店を営んでいるんです。都会だと食堂等がたくさんありますから、多少味が劣っている店でもお客さんはあまりこだわらないようなのですが、こちらでは比較対象になる店の数が少ないですからね。地元のかたの舌に合うおいしい料理を作ろうと、日々研究を重ねているところですよ。

言葉の点では、地元のかたたちがいる程度こちらの話し方に合わせてくれるので全く不安はありません。

Q. 一言、ご自由にと。

満員電車でゆられてただ家へ帰るだけの土地ですから、心が休まります。いつまでも暮らしていきたいですね。

